

news letter

# 毛糸のおっぱいプロジェクト



## ニュースレター Vol.2

2013年1月発行 事務局/とも子助産院  
仙台市泉区野村字野村 95-6 022-772-5960

### 2012年5月～12月の活動報告

このプロジェクトをご支援・ご賛同下さいました全国の皆様に心よりお礼申し上げます。

たくさんの温かいお気持ちが、おっぴさまたち（作り手さん）の笑顔につながっていることを、実感している日々です。皆様にここに活動報告ができることを、心より感謝いたします。

（代表 北原郁恵）

毛糸のおっぱいプロジェクトを応援して下さる皆さま、ありがとうございます。おかげ様であむあむおっぴは細々ながらも売れ続け、作品の完成度も上がってきました。学習会などに出展させていただいたブースでも、「便利に使っていますよ～。新しいのもきれいだから、また欲しくなっちゃうな」とお声かけいただき、2個目、3個目をご購入なんてケースが増えてきました。

12月7日夕方、ヒューンヒューンと緊急地震速報。助産院は修復工事中だったため、建物を取り囲んでいた足場がガシャガシャと派手な音を立てます。テレビでは、津波警報と避難勧告。3時間前まで気仙沼の港にいた私たちは、あれから1年9カ月もたつけれど、まだ災害渦中なのだと改めて思い知らされました。

気仙沼訪問時、編み手さん達は「耳が遠いのと、聞こえないのとは、ずいぶん違うもんだよ～。震災前には少しは聞こえていたんだけどねえ。みんなの話すことが分からないから、ごめんね」と何度も言いながらも、歓迎してくれます。手料理を並べてごちそうくださったり、編みためた沢山の作品披露してくださったり、お会いするたびに、前回よりお元気で、うんとおしゃれに若くなっていくように見えました。「きれいな物を触るとホッとする。編み物しているときは、あれこれ考えなくても済むからねえ」「なんにもする気が出なくて、毛糸を積んでただ眺めているんだ～」と話しておられる方もいました。

被災された高齢女性に癒しと収入を、赤ちゃん和妈妈にこちよい授乳タイムを、母乳育児支援者には魅力的な教材を、それが毛糸のおっぱいプロジェクトの願いです。ママサポーター達も頑張っています。

今後とも、ご支援賜りますようよろしくお願い致します。

（とも子助産院 伊藤朋子）

## 2013年も毛糸のおっぱいプロジェクトをどうぞよろしく！

新たに加わったママさんスタッフとともに、2013年も楽しくゆかいに活動していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



左上から時計回りに  
事務局/伊藤朋子  
制作リーダー/石澤佳奈、  
発送、出展/山田円、  
経理/伊東敦子、  
広報/高山彰子  
ほか代表の北原郁恵  
佐藤由美子助産師  
菊池啓子助産師  
気仙沼市在住の編み手さん4名  
石巻から仙台に避難中の  
作り手さん1名がおります。

あむあむちゃん  
ついに完成！

授乳モデルのパペット  
「あむあむちゃん」  
手をいれて口をバクバク動かせます。  
毛糸のおっぱいプロジェクトの  
ブログにて、個性豊かな  
あむあむちゃんたちを  
ご紹介しています。  
「あむあむおっぴ」と合わせて  
ご利用ください。  
1体 6000円（送料別）



## イベント、学習会などでの販売、PR

(2012年5月～12月の主なもののみ掲載)

5月1,2日	第26回日本助産学会学術集会(札幌)
5月13日	岐阜助産師会総会にて委託販売
5月13日	第18回母乳育児支援を学ぶ千葉教室にて委託販売
6月10日	日本ラクテーションコンサルタント協会 東北エリア学習会
6月28日	ママまつり in 仙台授乳ショーにて告知
7月7,8日	第32回JALC 母乳育児学習会 in 神戸
7月28日	BSケアセミナー in 静岡
8月	静岡県助産師会講習会、mama+festa、助産師会総会にて委託販売
8月19日	第4回母乳育児支援を学ぶ東北エリア教室
9月29,30日	平成24年度 日本助産師会 北海道・東北地区研修会 in 天童
10月7,8日	日本助産師リフレクソロジー研究会 スキルアップセミナー
10月14日	第3回たるみっ子防災広場(神戸市垂水区) 東北支援チャリティ・バザー参加(委託)
10月19日～	母乳育児支援基礎セミナー in 仙台
10月26,27日	平成24年度 日本助産師会 九州沖縄ブロック研修会 in 福岡
10月28日	母乳育児支援を学ぶ北関東教室2012
11月4日	第4回母乳育児支援を学ぶ甲信越教室 in 三条にて委託販売

上記以外にも福島県助産師会様、日本BPW 連合会棚田様ほか委託販売を引き受けてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

2012年4月より関わらせていただいております、石澤です。

通信販売の発送や、委託販売の窓口をさせていただいておりましたが、お買い上げいただいた皆さんのメッセージや、委託販売を引き受けてくださる助産師さん、ママたちの活動、言動に日々勇気づけられています。

「おっぱい大好きな娘のために」「孫へのプレゼントに」「クリスマスツリーにミニおっぱい飾りました!」「母親学級で使用していますがもう手放せません」「手作りのぬくもりに癒されます」etc・・・。

赤ちゃんとお母さん、そして支える助産師さんやご家族のみなさんの温かさ、愛情の深さにはとても力があるなあと感じます。

私個人では山形県天童市と福岡県博多市へも出張販売に出向き、温かくむかえていただきました。山形県助産師会の皆様、福岡県助産師会の皆様には大変お世話になりました。

委託販売を引き受けてくださったたくさんの助産師の皆様! ママ達! ありがとうございます。

「あむあむおっぱい」「あむあむちゃん」を通して、編み手さんたちと全国の購入者さんたちの温かな交流が続けられますように、これからも楽しく活動してまいります。



天童ブースにて石澤・北原代表

プロジェクト開始から  
2138 個のあむあむおっぱい  
434 個のミニおっぱい  
をお買い上げいただきました。

## 気仙沼レポート

### おっぴさんたちのあたたかさ、感謝のことが大きな励みに

伊東敦子

11月17日、「あむあむおっぴ」の編み手さん、気仙沼のおっぴさんたちに会いに行ってきました。

震災後初めて訪れる気仙沼の姿はまだまだ津波の爪あとがそのまま。あれから1年8ヶ月。あっという間のようで、そうではないことを物語っている景色。メディアでもよく観かける800メートルも流された大型漁船、建物の基礎だけ残った状態、今にも崩れそうなむき出しのコンクリートの建物の姿…。



気仙沼市内の様子

そんな中、お昼をいただくために立ち寄った復興屋台村のお店では元気なおじさん、おばさん、若者が「これぞ気仙沼！」という新鮮な魚介類や復興グッズを威勢よく販売しており、心もお腹もほっこりしました。気仙沼のみなと祭り、さんま祭りや大島へ行くために訪れた時の気仙沼、あの時の活気に満ちた気仙沼へ戻るために、一步一步、みんなが手を取り合い進んでいると感じました。



ほやボーヤ

復興屋台村のイクラまぐる丼

そしていよいよおっぴさんが待つお家へ。編み手のおっぴさん3人とは初対面でしたが、温かく迎えてくれて震災の時のお話から今までのことなど色々なお話を伺うことができました。



温かく迎えてくれたおっぴさんたちと

「あの時からしばらく時は止まってしまっていて、何も考えることができなかった。それがどのくらい続いたのかもわからない…でもみなさんのおかげでこうやって生活できるようになった。本当に感謝してもしきれない。そして今は朝、外にでて空気を吸い、“あ～美味しい”と感じれることが何よりも幸せ。こういうことを気付かせてくれたんだね～あの震災は。」

涙をうっすら浮かべながら「感謝」「ありがとう」「みなさんのおかげさま」を何度もおっしゃって気仙沼弁でお話するおっぴさんの言葉が心に響き、私も涙。

どんな状況であれ、今、ここにいることに心から感謝しているおっぴさん達。そんな彼女達を作る「毛糸のおっぴい」や「あむあむちゃん」たちが、それを手にする私たちの心を温かくしてくれる。編むことがとても大好きで、自分が編んだものを喜んでくれる人がいることでおっぴさんたちはますます元気になる。素敵な関係。

おっぴさんたちとのご縁に感謝。おっぴさんたちからたくさんのパワーをいただいた気仙沼。

たくさんの人の手におっぴさんたちが作るおっぴいなどが届きますように。そのために、今できることを私も一歩ずつやっつけていこう。

## ミシンのご寄贈ありがとうございます。

プロジェクトでタグ付けや梱包作業しているKさんは、助産院で使う産着や新生児用帽子、ひざかけなどのミシン縫製作業の仕事をしています。

震災直後の支援物資でいただいたミシンは年季の入った物が多く、調子が悪くても修理費用がかえってかさんでしまうものばかりでした。

このままでは仕事ができないと相談を受け、呼びかけたところ、日本手芸普及協会・フェアリーハンズ代表藤村雅子様と、あのねの会様（宮城）・大場ミシン様（愛知）のご厚意により新品のミシンを御寄贈いただきました。

感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 母として、震災後の1年9ヶ月をふり返る…

2012年12月。大震災があってから2度目の年末です。あれ以来“生かされている”と強く感じるようになり、家族そろって年が越せることを、ただただ幸せに思います。

私が住む仙台市中心部は被害が少なく、幸運にも生活そのものには大きな変化がありません。ただ震災をきっかけに、考え方や行動は大きく変わりました。

家族をはじめとする身近な人はもちろん、さまざまな人たちとお互いに助け合い共存していくために私に何ができるだろう。子どもたちの生きる未来が、安全で心地よくあるように。そんな想いから、自然や食べ物、そして今まで関心が低かった政治などについても、これまで以上に真剣に見聞きし考えるようになりました。

日々の家事や育児をするかたわら、無理なく楽しみつつできることが誰かの手助けになるといい。そう思って、ふと周りに目を向けると、同じような想いでアクションを起こしているお母さんがたくさんいると気づきました。沿岸部の幼稚園に手作りの人形を贈る人、脱原発デモに参加する人、マッサージをして癒すために仮設住宅を訪問する人など。自分の子どもを大切に守りながら、誰かの手助けをしたい。自分の家族だけが良ければいいという考えではなく、それぞれができることをしながら、みんなでより良い未来へ進んでいきたいとの想いが伝わり、日常のさまざまな場面で励まされることがあります。

3.11 東日本大震災は、生きること、子どもを育てること、本当に大事なことを深く考えるようになる大きな転機でした。これからも自分の心に芽生えたちいさな想いを大切に、温かみのある毎日を過ごしていきたいと思います。

(高山彰子)



### あむあむおっぴを販売しませんか？

#### 委託販売

1回につき30個以上預かっていただき、売れ残りは着払いで返品いただく方式。  
売り上げの20%を委託料としてお支払いたします。  
イベント、学習会などでもご利用下さい。

**まとめ買い** 定価にて10万円分以上をまとめてご注文いただくと30%引きにさせていただきます。

くわしくはお問い合わせください。

単品、10個パックのご購入は  
ホームページからの申込が便利です。

あむあむおっぴ 1個 2,000円

ミニおっぴ 1個 1,200円

**NEW** あむあむちゃん 1体 6,000円

送料500円をご負担いただいております。

毛糸のおっぴいプロジェクト

TEL 022-772-5960 FAX 022-772-1743

Mail oppi@tomo-j.jp

#### お支払方法

<銀行振込の場合>

七十七銀行 向陽台支店(普通) 5367638

口座名: 毛糸のおっぴいプロジェクト 代表 北原郁恵

<郵便振替の場合>

郵便局備え付けの「払込取扱票」(郵便振替用紙・青色)か、  
当方で配布中の印刷済み振替用紙(青色)をご利用下さい。

口座記号 - 口座番号 02280-4-134233

加入者名 毛糸のおっぴいプロジェクト